

津久戸

平成30年3月1日

3月号

新宿区立津久戸小学校

文集「つくど」第60号の完成

校長 八田 瑞穂

文集「つくど」が創刊60周年を迎えました。もうすぐ皆さまのお手元に届くと思います。一人ひとりの作文には個性があふれ、読むと楽しく、うれしくなります。

ここでは、いくつかの作品を紹介します。

2年生の作品「ザリガニもてたよ」。この子は綴ります。-----生き物係なのにザリガニがもてません。自分でも「そろそろザリガニがもてないと。」-----と悩んでいます。友達にどうやったら持てるかのコツを教えてください、励ましを受けながら持てるようになります。「やればできるんだね。」みんなにほめられ心がうれしくなりました。こういうやり取りの中で子どもの心が育っていく様子が分かります。

もう一人は「宝石の島」。図工で描いた「輪の中の世界」が一番心に残っています。毎日、絵が完成した時のことを考えていました。この世界の中に宝石みたいな島を描くことにしました。島の形は桜、おひさま、落ち葉、雪の結晶です。-----これにも驚きました。まず、図工の時間のことを毎日考えていることが素晴らしい。そして工夫する気持ちと意欲。

4年生の作品。『のはらうた』工藤直子作の学習から発展させます。自分も野原の誰かになって考えたことや感じたことを詩にしています。

(題名)「自由なぼく」(作者名) ナマケモノ ゆたか

(題名)「すすむ」(作者名) いのしし すすむ

(題名)「結婚願望」(作者名) ホタル アキラ

(題名)「話を聞いて」(作者名) こざる みき子

詩の題名も、作者名も気が利いています。

6年生の作品は意見文です。

「人間の分をわきまえる心」「高齢者が暮らしやすく」「知ることの大切さ」など大人顔負けの本格的な作文が続きます。ここで紙幅が尽きました。

1年間の成長を知ることができる文集「つくど」が還暦(創刊60周年)を迎えました。ぜひ子どものよさを感じてください。今年度も本校へのご協力を感謝致します。ありがとうございました。

家庭科から成長の一步へ

今年は被服学習で児童の安全性を考え、ボランティアを募りました。ボランティアの皆さまには大変お世話になり、ありがとうございました。お蔭様で弁当包みや、ナップザックを仕上げることができました。児童たちは社会科見学で作品を活用しました。「自分の手で縫い上げた物を生活の中で活用する喜び」を、子どもたちが体感できることは担当としてこんなうれしいことはありません。

調理実習では6年生は野菜炒めやカレーを作りました。調理しながら道具を片付け、テーブルセッティングまでこぎつけ、時間が余りました。さすが6年生!!見事な動きを見せてくれました。5年生は初めての実習ながら調理が大好きです。ゆで卵、青菜のおひたし、味噌汁などを作り、耐熱ガラスのお鍋でご飯を炊きました。

「住居」では夏冬の過ごし方、洗濯実習、清掃と片付け、季節の服の着こなし、照度計、温度計、湿度計で学級の学習環境が「快適」ゾーンであることを確認しました。「家族」では、家族との関わり、団らんの工夫と計画を学びました。

1年間の振り返りで4月と現在を比較したら〇が多くありました。自分の身の回りの細かなことを、自分でできるようになるのは成長の証です。家族の一員として家事に携わり、お手伝いを重ねるうちに、「習うより慣れて」成長していくことでしょう。家庭科はそんな教科であると感じております。

給食室より



給食時間に教室へ様子を見に行くと、

「これおいしい!また出して!」とか「このスプーンがたくさんでおいしい!何が入っているの?」など、子どもたちが声をかけてくれるようになりました。リクエストをしてくれたり、給食の食材や作り方などに興味をもって質問してくれたりする子が多く、日々の食事を大切にされているご家庭の様子うかがえます。

私は4月に新任の栄養士として着任しました。毎日子どもたちの反応から刺激を受け、献立を立てる時には、おいしいことは大前提で、子どもたちの食に対する興味、関心をいかに引き出せるかということも考えるようになりました。給食は1日の中で3回ある食事のうちの1回に過ぎませんが、子どもたちの心身の健全な成長のために伝えられることは無限にあると考えています。毎日、その日の給食や月の給食目標に関連した話題を書いている「おいしいおたより」を配るだけでなく、栄養黒板や廊下の掲示物の充実、本物の食材に触れる食育などにも力を入れていきたいと思っています。

【学年の窓から・・・6年生】

卒業まで残りわずかとなりました。卒業カウントダウンカレンダーをめくるたびに、1年間の思い出が頭に浮かびます。

4月は一年生のお世話を苦戦していましたが、今では指示の仕方が上手になるなど、子供たちの成長を実感しています。

運動会や日光移動教室、学芸会など、全てにおいて「最後」が付く6年生は、唯一の単学級で40人。教室にびっしりと並んだ机の中で生活しています。そんな教室で学んだこともたくさんあります。成長した力を、1学期から掲示しています。

あいさつ力 切り替え力

隙間力 報告力 学校貢献力

黙々力 メモ力 など

一見見逃しそうなことも、言葉にして学級全体で共有して、学びを確かなものにしていきたいです。この仲間と過ごす時間を大切にして、残り少ない小学校生活を過ごしてほしいです。

